

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
看護研究方法論	2 単位 30 時間(16 コマ) 講義科目	博士前期 1 年次 前期開講	☐ ・不可
科目責任者	角濱 春美		
担 当 者	角濱 春美、出貝 裕子、清水 健史		
1. 科目のねらい・目標			
看護研究の基本的な方法、研究過程を習得する。また、既存の研究を批判的に分析し、研究を臨床実践に活用する能力を修得する。 ＜到達目標＞ 1. 看護研究の意義と動向を理解し、科学的思考法について理解できる。 2. 研究デザイン、研究方法について理解し、正しく論文を読むことを通し、研究実践ができる基礎的能力を習得する。 3. 研究成果を活用するにあたり必要なクリティーク能力を身に付け、EBP の実践と普及ができる基礎的知識を獲得する。			
2. 授業計画・内容			
1) 授業計画 【角濱】 第 1－2 回 看護研究への導入 看護研究の定義、看護研究の歴史と動向、量的研究・質的研究の概要（1～4 章） 【清水】 第 3－4 回 研究のプロセス 研究問題、研究疑問と仮説、関連文献のレビュー、枠組み、研究における倫理(5～9 章) 【出貝】 第 5－6 回 量的研究の方法論 非介入研究デザイン、介入研究デザイン、アウトカム研究、ミクストメソッド研究 (10・11・13・14 章) 【清水】 第 7－8 回 質的研究の方法論（12 章） 【出貝】 第 9－10 回 量的研究方法論 サンプリング、量的測定概念、測定方法（15～17 章） 【角濱】 第 11－12 回 エビデンスに基づくヘルスケアへの統合 批判的吟味、エビデンスの統合（18・19 章） 【出貝】 第 13－14 回 データ収集と分析（統計解析） データ収集と管理、統計解析概論、統計手法、研究結果の解釈（20～26 章） 【角濱】 第 15－16 回 研究知見を広める、研究計画書の作成 27・28 章） 事例研究の方法論 科学的事例研究、事例研究の型、看護理論の活用 2) 授業内容 学生によるプレゼンテーションを主体とした授業を行う			

3. 教科書、参考書
<教科書> J. R. Gray&S. K. Grove 著、黒田裕子ら監訳 (2023) : バーンズ&グローブ看護研究入門原著第9版 評価・統合・エビデンスの生成、エルゼビアジャパン、ISBN 978-4860347949 <参考書> D. F. ポーリット&C. T. ベック著、近藤潤子監訳 (2010) : 看護研究－原理と方法 第2版、医学書院、2010. ISBN 978-4-260-00526-5 これ以外は授業で随時紹介する。
4. 成績評価方法
プレゼンテーションの内容と方法 (50%)、看護研究に関わる基礎知識を要約するレポート (50%) で評価する。
5. 受講要件
なし
6. 社会人学生に対する配慮
夜間、土日開講とする。学生及び教員の要望により、リモートでの同時双方向型授業を行う
7. その他
webex のチーム機能を用いてプレゼン資料の共有やリモート授業を行います 全て参加型のアクティブラーニングであるため、オンデマンド科目ではありません